

発生抑制、利活用を促進

全国空き家アドバイザー協会 花巻支部設立

全国空き家アドバイザー協会の花巻支部は17日、設立された。県内では一関支部に続き2番目の支部。行政や地域住民などと連携しながら、空き家の発生抑制や利活用の促進を図っていく。

同協議会は、各地の空き

家バンクと連携して地域の活性化に取り組む。花巻市内で開かれた設立総会には、入会希望者や行政関係

者ら17人が出席。運営規約や役員、2025年度の事業計画と予算を承認した。

事業は▽空き家バンクなど連携した地域の活性化▽空き家の発生抑制▽空き家の利活用▽空き家の解体促進▽空き家のDIYによる流動化促進―など。

役員は、支部長に鎌田哲暢さん（松園総業）、副支部長に高橋和矢さん（塗装屋一屋代表）、事務局長に

松川章さん（こうどうしゃ行政書士事務所）がそれぞれ就く。

同協議会によると、全国



花巻市内で開かれた全国空き家アドバイザーの花巻支部設立総会

の空き家は900万戸、空き家率13・8%という。

花巻支部では「支部設立が旗印になって多様な会員が集まり、活動を強力に展開することに期待する」としている。

2025年9月19日（金）

岩手日日新聞